

第1回、第2回 モニター調査実施結果の概要について



独立行政法人
大学入試センター

1. 目的

「大学入学共通テスト（仮称）」における記述式問題の導入に向けて、問題の条件設定や採点基準、採点体制や試験時間等の在り方など、モデル問題公表に向けた検証を行うため、モニター調査を実施

2. 対象教科等

国語、数学について、幅広い学力層からなる大学1年生を対象に実施

第1回 平成28年11月27日（日）

約400名を対象に、様々なパターンの記述式問題を出題。

【国語】 12の大問を出題（80字超の問題を含む23題の記述式問題（最大220字）を出題）。
モニター生を2グループに分け、1グループごとに異なる大問6問を出題（大問2問について試験時間60分×3セット）
実用的な文章（公文書、契約書）、統計資料、評論文（自然科学分野）、会話文及びそれらの組合せなど、従来の大学入試センター試験にはないパターンの題材を選定。

【数学】 16の大問を出題（短文式を含む34題の記述式問題を出題）。
モニター生を3グループに分け、1グループごとに異なる大問6問を出題（ただし、大問2問は3グループの内2グループ共通。
大問4問について試験時間60分、大問2問について試験時間30分）

【質問紙調査】

- ・ 解答方法に関する説明
- ・ 問題の難易度
- ・ センター試験の内容との違い
- ・ 解答時間

等

第2回 平成29年2月26日（日）、3月4日（土）

約600名を対象に、第1回モニター調査の結果を踏まえて、対象となる記述式問題を厳選して出題。

【国語】

①大問5問を出題。試験時間は100分で実施（現行センター試験80分）。

○大問5問の内訳は、記述式のみからなる大問1問、マークシート式のみからなる大問4問。

○記述式は、40字1問、35字1問、20字1問、120字1問を出題。

②記述式の大問1問を試験時間30分で実施。

○記述式は、40字1問、120字1問、50字1問を出題。

【数学I・A】

①大問5問を出題。試験時間は70分で実施（現行センター試験60分）。

○大問5問の内訳は、数学Iから大問2問、数学Aから大問3問。

なお、数学Aは、現行センター試験同様、大問3問から2問選択して解答。

○数学Iは、記述式とマークシート式が混在、数学Aはマークシート式のみ。

○記述式は、数式を記述させる問題2問、問題解決の方略を記述させる問題2問を出題。

【質問紙調査】

- ・ 解答方法に関する説明
- ・ 記述問題の解答欄の書きやすさ
- ・ 問題の難易度
- ・ センター試験の内容との違い
- ・ 解答時間

3. 採点体制

「記述式問題採点業務に関する技術アドバイザリー業務」の委託を受けた民間事業者（国語2社、数学2社）が、大学入試センターが作成した採点基準に基づいて採点（一枚の答案を複数名で採点し、一致しない場合には上位判定者に協議して決定する多層的な採点体制）

4. 記述式問題に関する実施結果の概要

【試験時間】

- 国語では、第1回調査において質問紙調査を実施したところ、解答に要した時間の平均は、80～120字は約8分、40字以内は約5分であった。
- 第2回調査においては、上記の結果を踏まえつつ、記述式のみからなる大問1問（小問4問）、マークシート式のみからなる大問4問、計大問5問に対して、試験時間を100分（現行センター試験80分）に設定した。全問題の平均正答率が約52%であり、解答時間に関する質問紙調査では、解答時間が足りなかった、やや足りなかったと回答した者は、それぞれ約24%、約26%であった。
- これらの調査の結果を踏まえると、記述式の問題数と時間のバランスについて、例えば、80～120字程度1問程度、40字程度2問程度、計3問程度を出題し、解答時間に必要な時間としては約20分程度を想定し、試験時間全体では100分程度に設定することなどが適当と考えられる。
- 数学では、第2回調査において、記述式とマークシート式が混在する大問2問（記述式は小問4問）（数学I）、マークシート式のみからなる大問2問（大問3問から2問を選択）（数学A）に対して、試験時間を70分（現行センター試験60分）に設定した。全問題の平均正答率が約47%であり、解答時間に関する質問紙調査では、解答時間が足りなかった、やや足りなかったと回答した者は、それぞれ約41%、約28%であった。
- 今後、問題の難易度、問題文の文字数、国語では題材の読み取りや解答文の構成に必要な時間、数学では解答に必要な計算量等、問題の内容や数と試験時間の適切なバランスについて引き続き専門的な検証を行う。

【記述式問題における解答に当たっての条件設定と採点】

- 大規模での一斉の共通試験では、資質・能力を適切に問うとともに、客観性・公平性を確保した短期間での採点が必要である。
- このことを踏まえたモニター調査の採点を、「記述式問題採点業務に関する技術アドバイザリー業務」の委託を受けた民間事業者に依頼したところ、解答に当たっての条件として、受験者が思考・判断・表現を求められる具体的な場面を適切に設定することにより、解答のパターンがある程度限定され、短期間での客観性・公平性を確保した採点が見込めることがわかった。
- 今回のモニター調査は数百人の規模ではあったが、採点の精度を担保するためには、①文字数は長くても80～120字で表現することなど、文字数も含め、受験者が思考・判断・表現を求められる具体的な場面を条件として適切に設定すること、②採点者が方針を共有しやすいよう採点基準を明確にすること、③採点者が上位判定者に協議し採点の信頼性を確保する多層的な採点体制をとることなどが重要なポイントとなることが確認されたところであり、今後、モニター調査の更なる分析を進めるとともに、平成29年11月予定の大規模プレテスト（5万人）を通じて、条件設定や採点基準、採点体制に加えて、採点期間等についても更に検証していく。

【自己採点】

- 第2回調査における、受験者の自己採点と採点者による採点結果との一致率は、国語では平均で68.9%（55.9～84.8%）、数学では平均で91.7%（87.6～95.3%）であった。なお、自己採点をしなかった者は、国語では平均で約3.0%、数学では平均で約6.0%であった。
- 受験者は、センター試験の自己採点結果を踏まえて、個別入試の出願をすることから、平成28年度のモニター調査の結果を踏まえ、平成29年11月予定の大規模プレテスト（5万人）を通じて、正答の示し方など自己採点の在り方等についても更に検証していく。

【第2回調査における記述式問題等の正答率】

1. 国語

問題			解答状況				自己採点と 採点結果の 一致率 (%)
			正答 (%)	条件の一部 を満たす (%)	誤答 (%)	無解答 (%)	
国語①	問1	40字	43.8%	50.6%	5.4%	0.2%	71.8%
	問2	35字	72.5%	22.9%	4.1%	0.5%	73.9%
	問3	20字	3.0%	84.7%	11.5%	0.8%	73.6%
	問4	120字	15.0%	31.5%	42.7%	10.8%	61.4%
国語②	問1	40字	42.0%	46.5%	11.1%	0.3%	55.9%
	問2	120字	33.6%	48.2%	15.9%	2.2%	60.7%
	問3	50字	22.1%	0.0%	72.9%	4.9%	84.8%
平均			33.1%	-	-	-	-

2. 数学

問題			解答状況				自己採点と 採点結果の 一致率 (%)
			正答 (%)	条件の一部 を満たす (%)	誤答 (%)	無解答 (%)	
第1問	[1]	アイウ	75.6%	-	23.7%	0.6%	87.6%
		(あ) 記述	29.5%		54.9%	15.6%	
		エ	61.0%		28.2%	10.8%	
		オカキク	25.3%		38.7%	36.0%	
		ケ	15.4%		66.1%	18.5%	
	[2]	コサシス	68.5%		21.3%	10.2%	94.9%
		セ	73.7%		17.5%	8.8%	
		ソ	42.8%		42.8%	14.3%	
	(い) 記述	5.6%	31.1%	63.4%			
第2問	[1]	ア	59.2%	36.5%	4.3%	95.3%	
		(あ) 記述	24.2%	29.1%	46.7%		
		(い) 記述	35.8%	10.8%	53.3%		
		イ	9.6%	60.7%	29.8%		
		ウ	15.4%	54.5%	30.1%		
		エ	18.6%	50.8%	30.6%		
平均			37.4%	-	-	-	
記述式平均			23.8%	-	-	-	

※自己採点と採点結果の一致率は、自己採点をしなかった者を除いて集計。 5

※国語、数学の全問題の平均正答率は、それぞれ52.4%と47.4%

【質問紙調査の結果】

1. 国語

第1回 【全体】

質問	5	4	3	2	1
(1) 解答方法に関する説明 (5=わかりやすかった 1=わかりにくかった)	42.9%	30.7%	13.2%	11.1%	2.0%
(2) 問題の難易度 (5=難しかった 1=易しかった)	4.9%	24.4%	40.8%	19.4%	10.5%
(3) あなたが受けたセンター試験の内容と (5=似ていると感じた 1=異なると感じた)	1.5%	10.1%	17.8%	24.4%	46.1%
(4) 解答時間 (5=足りなかった 1=余った)	4.2%	12.4%	23.0%	16.7%	43.7%

【解答時間】

	問題	文字数	平均解答時間
1	問2	40字	4.23分
	問4(ii)	220字	10.05分
2	問1(ii)	20字	5.26分
	問2	50字	6.12分
3	問3(ii)	80字	9.65分
4	問3	25字	4.13分
5	問3	30字	4.7分
	問4(i)	15字	5.51分
6	問2	15字	4.66分
	問3(i)	40字	8.95分
	問3(ii)	70字	
7	問2	70字	7.12分
	問3	80字	8.1分
8	問1	40字	5.22分
	問2	100字	7.57分
9	問2	40字	5.25分
	問3	120字	8.01分
10	問2	80字	7.65分
	問3	80字	4.11分

【1問当たりの解答時間概算】
 220字・・・10分
 80字～120字・・・8分
 40字以内・・・5分

第2回

質問		5	4	3	2	1
国語 ①	(1) 解答方法に関する説明 (5=わかりやすかった 1=わかりにくかった)	52.6%	28.3%	12.0%	5.9%	1.1%
	(2) 記述問題の解答欄 (5=書きやすかった 1=書きにくかった)	53.4%	25.4%	11.0%	8.0%	2.2%
	(3) 問題の難易度 (5=難しかった 1=易しかった)	9.0%	37.8%	41.0%	11.2%	1.0%
	(4) あなたが受けたセンター試験の内容と (5=似ていると感じた 1=異なると感じた)	5.4%	31.1%	11.0%	32.4%	20.1%
	(5) 解答時間 (5=足りなかった 1=余った)	24.1%	26.3%	19.1%	22.2%	8.3%
国語 ②	(1) 解答方法に関する説明 (5=わかりやすかった 1=わかりにくかった)	47.4%	27.8%	12.0%	10.4%	2.6%
	(2) 記述問題の解答欄 (5=書きやすかった 1=書きにくかった)	53.9%	25.2%	11.3%	6.5%	3.0%
	(3) 問題の難易度 (5=難しかった 1=易しかった)	6.6%	26.6%	39.8%	19.5%	7.5%
	(4) あなたが受けたセンター試験の内容と (5=似ていると感じた 1=異なると感じた)	0.5%	0.5%	4.3%	8.4%	86.3%
	(5) 解答時間 (5=足りなかった 1=余った)	4.8%	13.1%	20.1%	34.1%	28.0%

2. 数学

第1回

質問	5	4	3	2	1
(1) 解答方法に関する説明 (5=わかりやすかった 1=わかりにくかった)	32.4%	25.6%	20.1%	16.6%	4.9%
(2) 問題の難易度 (5=難しかった 1=易しかった)	31.6%	31.7%	24.2%	6.40%	6.1%
(3) あなたが受けたセンター試験の内容と (5=似ていると感じた 1=異なると感じた)	6.3%	24.7%	27.4%	18.9%	22.7%
(4) 解答時間 (5=足りなかった 1=余った)	19.4%	20.6%	32.1%	12.4%	15.6%

第2回

質問	5	4	3	2	1
(1) 解答方法に関する説明 (5=わかりやすかった 1=わかりにくかった)	33.1%	26.4%	15.3%	18.3%	6.8%
(2) 記述問題の解答欄 (5=書きやすかった 1=書きにくかった)	30.0%	19.8%	27.0%	15.5%	7.8%
(3) 問題の難易度 (5=難しかった 1=易しかった)	38.4%	40.3%	16.2%	3.7%	1.4%
(4) あなたが受けたセンター試験の内容と (5=似ていると感じた 1=異なると感じた)	3.3%	13.4%	11.6%	31.3%	40.4%
(5) 解答時間 (5=足りなかった 1=余った)	40.9%	28.3%	19.3%	6.9%	4.6%

【参考】「記述式問題採点業務に関する技術アドバイザー業務」

1. アドバイザー業務の主な内容

- 記述式試作問題及び採点基準の作成に関すること
- モニター調査の採点業務に関すること

2. 委託した民間事業者

(1) 国語

- 株式会社教育測定研究所
- 株式会社ベネッセコーポレーション

(2) 数学

- 株式会社教育測定研究所
- 株式会社内田洋行